

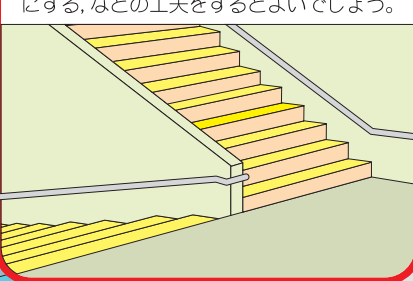
授乳室, 幼児用遊び場

幼児連れの家族が授乳やおむつ替えをできる十分な設備, スペースのほか, 安全に配慮した幼児用遊び場を設けます。



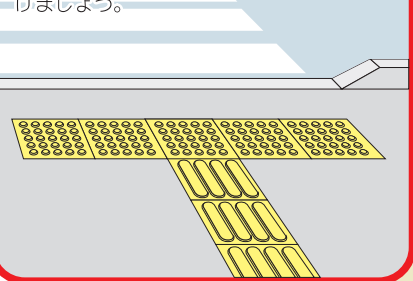
階段

手すりを様々な利用者の身長に合わせて二段にしたり, つまづきやすい出っ張りをなくしたり, 段の端の部分を分かりやすい色にする, などの工夫をするとよいでしょう。



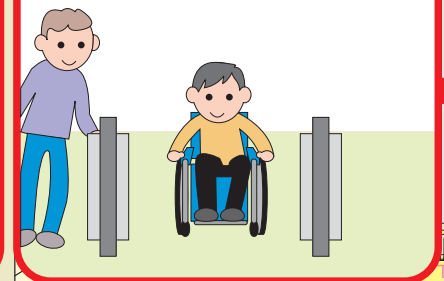
点字ブロック, 音声誘導装置

点字ブロックはJIS規格で統一されたものを敷設し, 併せて主なポイントには現在位置が分かる音声による案内装置を設けましょう。



駅

車いすでも通れる十分な幅のある改札口を設置します。



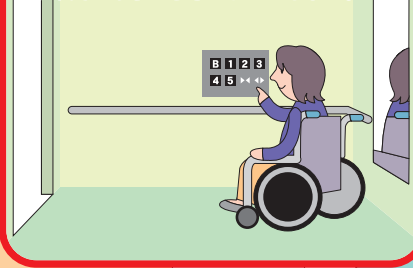
出入口

十分な幅があり, 段差がありません。みんなが快適に利用するための自動ドアなどのほか, 点字ブロックや音声誘導装置などの配慮も必要です。



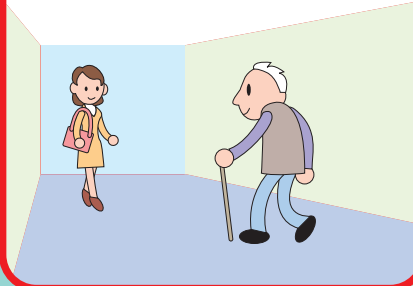
エレベーター

車いすの方などが乗り降りしやすいよう十分な広さをとるほか, 転回するための姿見用鏡があると安心です。点字や音声による案内があるとさらによいでしょう。



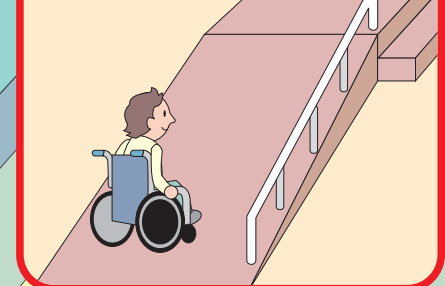
廊下等

十分な幅があり, 段差がありません。転倒などの危険がないよう表面は滑りにくくします。



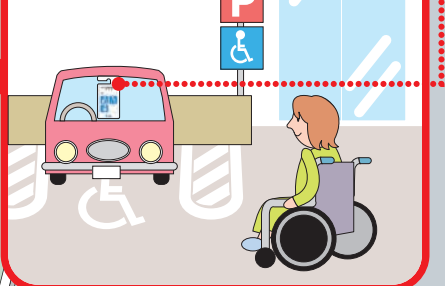
スロープ

大きな段差がある場合は, 階段とは別にスロープを設け, 車いすでも利用しやすくします。



駐車場

利用する建物からできるだけ近い場所に設け, 車いす利用者用の十分な駐車スペースを確保します。



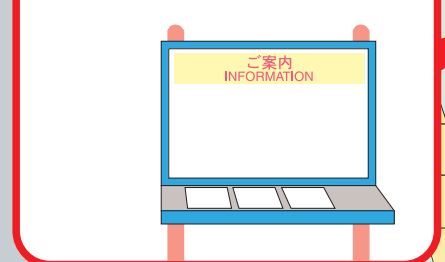
トイレ

十分な広さをとり, 車いす使用者などに配慮して手すりを設けるほか, オストメイト(人工肛門等保有者)用の汚物流しなどの設備も設置します。



案内板

文字の大きさ, 位置, 色などに配慮し見やすくします。点字や触知図などによる情報も提供するほか, 外国人の多い地域であれば外国語表記があるとよりよいでしょう。

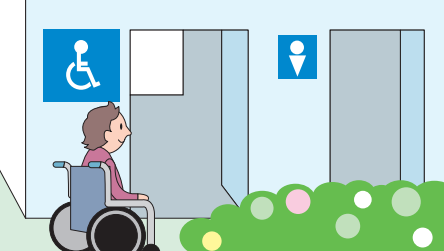


客室

車いすでも快適に利用できるトイレや浴室を備えた客室を設けます。



TOILET



案内

